

INCHEM TOKYO 2011 開催について

拝啓 この度の東日本大震災により被災された方々に心よりお見舞い申しあげます。被災された東北・関東地域の早期の復旧・復興を祈念しております。

私ども主催者は、この未曾有の大震災から必ず日本は立ち上がれると信じております。

大震災の影響により、日本経済が停滞の危機に瀕していることはご承知の通りでございます。本展示会は、1966年から一貫して技術・情報の交流と発信を通じ産業の振興と活性化を推進し、まさしく技術立国日本の成長を支援して参りました。そして毎年多くの企業の皆様に商取引の場、ビジネスチャンスの場を提供して参りました。

また、ご存知の通り国内はもとより海外からも人、モノ、情報が集まる展示会は、大きな経済効果をもたらすとともに国内外の経済活性化や復興においても大きな役割を果たして参りました。今後、震災復興の過程における展示会の重要性は、ますます高まってくるものと確信しております。

公益社団法人化学工学会ならびに社団法人日本能率協会は、いまだからこそ積極的に展示会の開催に向けた努力を行い、今回震災にあわれた東北・関東地域の復旧・復興、さらには日本経済の再生に少しでも貢献したいと強く願っております。そしてそれが本展示会開催の使命であると認識しております。従って、2011年度INCHEM TOKYOは、予定通り開催して参る所存でございます。

最後になりましたが、この度の震災により犠牲となられました方々に深い哀悼の念を表すと同時に、重ねて、被災者の皆様の一刻も早い回復を心から祈念いたします。

敬具

2011年5月
公益社団法人 化学工学会
会長 中尾 真一

社団法人 日本能率協会
理事長 中村 正己